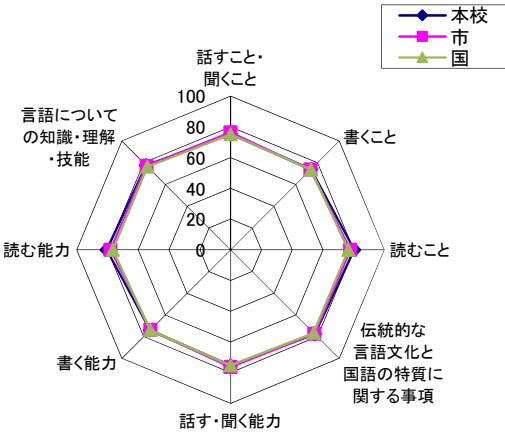


宇都宮市立陽西中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

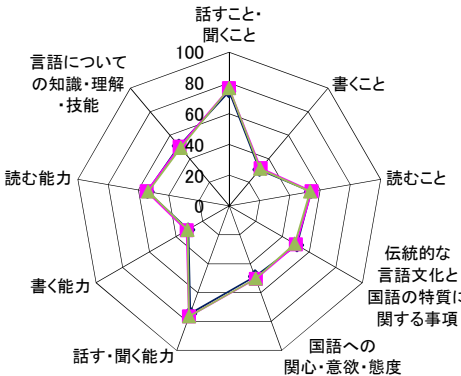
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	75.3	76.4	75.2
	書くこと	74.1	73.7	73.9
	読むこと	80.5	78.0	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.6	77.2	76.5
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	75.3	76.4	75.2
	書く能力	74.1	73.7	73.9
	読む能力	80.5	78.0	76.7
	言語についての知識・理解・技能	77.6	77.2	76.5



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.6	76.5	76.6
	書くこと	30.8	31.9	31.3
	読むこと	54.1	54.5	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	50.9	50.2	49.2
観点	国語への関心・意欲・態度	48.9	50.6	50.3
	話す・聞く能力	74.6	76.5	76.6
	書く能力	30.8	31.9	31.3
	読む能力	54.1	54.5	53.5
	言語についての知識・理解・技能	50.9	50.2	49.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、全国平均より国語Aは0.1ポイント高く、国語Bは2ポイント低い。 ○話の論理的な展開などに注意して聞くことに関する設問の正答率が91.1%と、県・全国平均を大きく上回った。 ●話し合いの話題や方向を捉えて的確に話す設問では、正答率が60%を下回っている。また、無回答率も18.3%と、他の設問に比べて高い。話し合いの	・今後も授業の受け答えや聞き取り問題を通して、相手の話を正確に聞き取ることや、話題に応じて自分の考えを発表する学習活動を工夫し、話すこと・聞くことの力を十分に身につけさせる。それに合わせて、話をするときには、相手意識を持って、言葉を選び、必要十分な情報を伝えられるようにする。また、お互いの話を聞き合う中から、相手の反応を踏まえながら話せるよう、話し合い活動を数多く行っていく。
書くこと	平均正答率は、全国平均より国語Aは0.2ポイント高く、国語Bは0.5ポイント低い。 ○書くこととする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する設問において正答率が90%を超え、無回答率も0%であり、良好な状況が見られる。 ●相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く設問では、かろうじて正答率は50%を超えたものの、無回答率が15.4%と最も高かった。	・日常的に短い文章を書く機会を設け、文章を書くことの抵抗感を減らしてきた成果が表れてきているので、今後も継続し、なお一層、構想を練りながら文章を組み立てる力を伸ばしていく。また、文学的文章のあらすじや、意見文を要約する学習を意図的に取り入れ、的確に相手に伝える学習を取り入れる。
読むこと	平均正答率は、全国平均より国語Aは3.8ポイント、国語Bは0.6ポイント、それぞれ高い。 ○文脈中の語句の意味や段落の関係、場面展開、描写等を踏まえ、内容を捉えることに対して良好な状況が見られる。 ●資料を活用しながら読むことや理由を考えることが十分にできなかった。	・説明的文章では、接続語や指示語に注意させて要旨をまとめたり構成をとらえたりする活動を継続させる。また、文学的文章では、心情を表す言葉や表現、修辞法に注目させて登場人物の内面を読み取らせる指導を心がける。あわせて、まとめたり、読み取った事柄を自分の言葉で表現したりする力も育てていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、全国平均より国語Aは1.1ポイント、国語Bは1.7ポイント、それぞれ高い。 ○漢字や、接続詞、語句の意味、慣用句、歴史的仮名遣いをおおむね理解している。 ●文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことにやや難がある。	・繰り返し学習することや、小テスト及び古典学習において暗唱することにより知識を定着させることができた。今後は文脈の中で漢字や語句を使えるよう指導を工夫していくとともに、辞書を活用し理解の定着を図る。また、慣用句、ことわざと合わせ、故事成語や比喩表現の使い方を折に触れて学習していく。

